

令和2年 5月 7日  
農業総合センター

## 令和2年度福島県オリジナル水稲新品種「福、笑い」の田植えについて

### 1 目的

農業総合センターでは、県オリジナル品種の開発など、本県農業の振興を図るための試験研究に取り組んでいます。昨年度、本県オリジナルの水稲新品種「福、笑い」が命名されてから、この度、初めての田植えとなります。

「福、笑い」の令和3年度からの本格生産を目指した原種の確保と栽培試験を開始することから、農業者をはじめ、県民の皆様などにお知らせします。

### 2 開催の内容

#### (1) 参集者

県の農業系技術職員（県庁担当課、農業総合センター職員）

#### (2) 開催方法

水稲新品種「福、笑い」の手植え作業

#### (3) 日時、会場及び主な内容

日 時	会 場	内 容
5月15日(金) 9:00～10:30	福島県農業総合センター内 水田 (郡山市日和田町高倉 字下中道116)	令和2年度の研究課題（主要農作物 生育解析調査・水稲の作柄解析試験） における「福、笑い」の手植え作業

### 3 その他

- (1) 取材いただける場合は、事前に御連絡願います。当日の受付場所をその際お知らせいたします。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用願います。なお、体調不良の場合は、取材を御遠慮願います。
- (2) 記事掲載可能であっても取材が困難な場合は、こちらで撮影した写真を後日お送りしますので、御連絡願います。

#### ○ 問い合わせ先

農業総合センター企画経営部 部長 緑川 弥寿彦

電 話 024-958-1712

FAX 024-958-1726

農業振興課 主幹 新田 耕作

電 話 県庁内線3176

024-521-7317

FAX 024-521-7937

# 福、笑い

## 育成経過

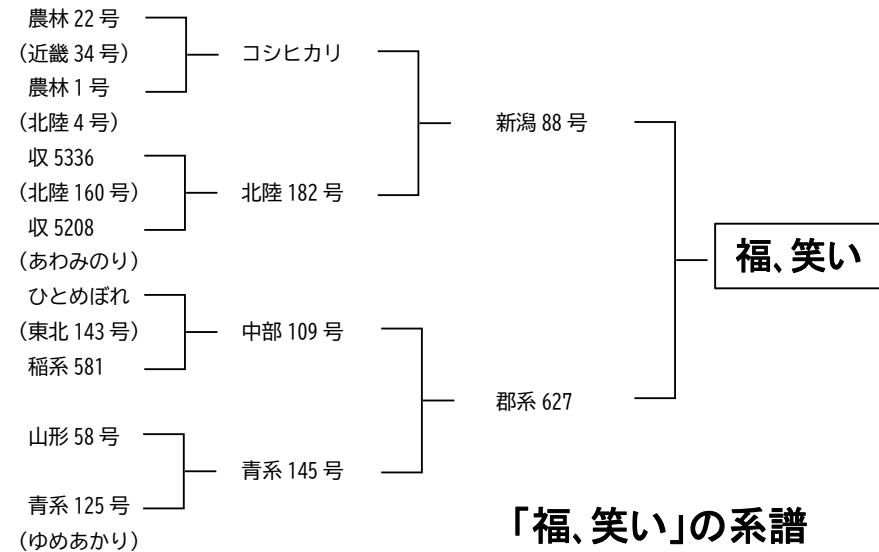
### “品質と食味が優れる福島県トップブランド品種を開発する”

東日本大震災に伴う原発事故による風評被害のため本県産米はブランド力の低下を余儀なくされましたが、これを打破するような県産米のトップブランド品種の開発を進めてきました。

平成18年に「コシヒカリ」の血を引く「新潟88号」を母、「ひとめぼれ」の血を引く「郡系627」を父として交配。

平成27年から3年間、国見町、矢祭町、西会津町、いわき市の生産者ほ場において栽培試験を行い、優れた特性を有する品種であることがわかりました。

平成30年には、マーケットや販売先の分析を行い、個性があり、市場で特別な存在になり得る品種であることを確認できたことから、令和元年5月に県の奨励品種への採用が決定しました。



## 品種特性

### “大粒で、強い甘味と独特の香りを持つ、食感の柔らかなお米”

- 玄米は大粒で、外観品質は基部未熟粒の発生が少なく、収量性が優れる傾向です。
- 味度値が高く、食味官能試験の総合評価は良食味です。
- 栽培面では、草丈が短く、倒れにくく、いもち病にかかりにくいので、生産者にとっても作りやすい品種です。

## 振興方策

### “県産米トップブランド品種に位置づけ、生産・販売戦略を展開”

- 品質・食味にこだわり、生産量を限定して販売します。
- 販売価格はプレミアム米相当の高価格帯を想定しています。
- 生産者は登録制として、栽培基準に基づいて栽培していただく予定です。
- 令和2年に先行栽培を開始して、翌令和3年に本格デビューを計画しています。

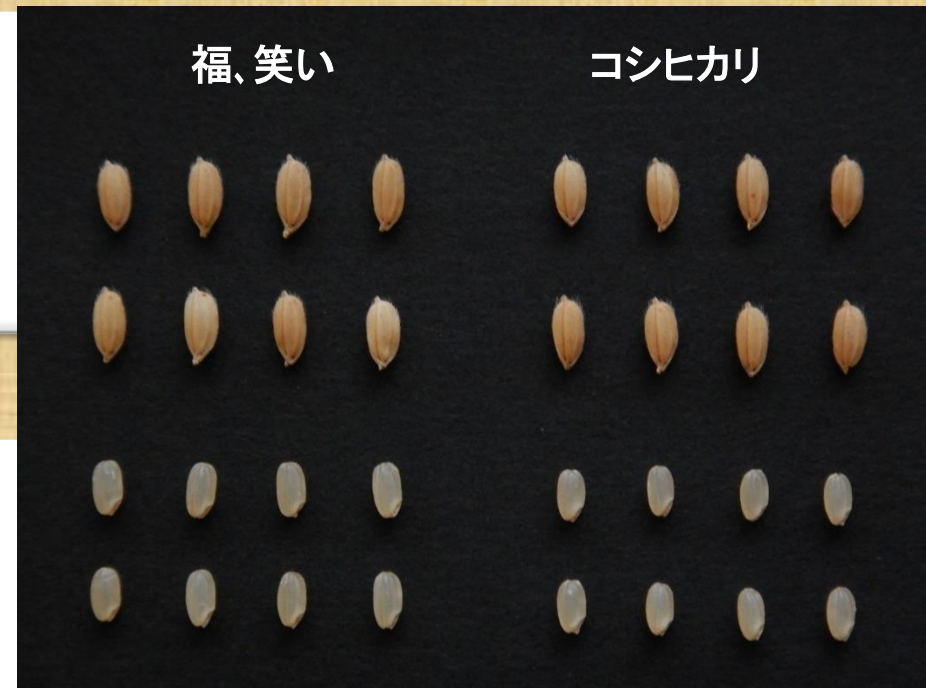


写真 粳と玄米